

# さんぽみち



発行 わがまち大田鵜の木地区推進委員会

連絡先  
鵜の木特別出張所  
☎ 3750-4241

## 広げよう！リサイクルの輪

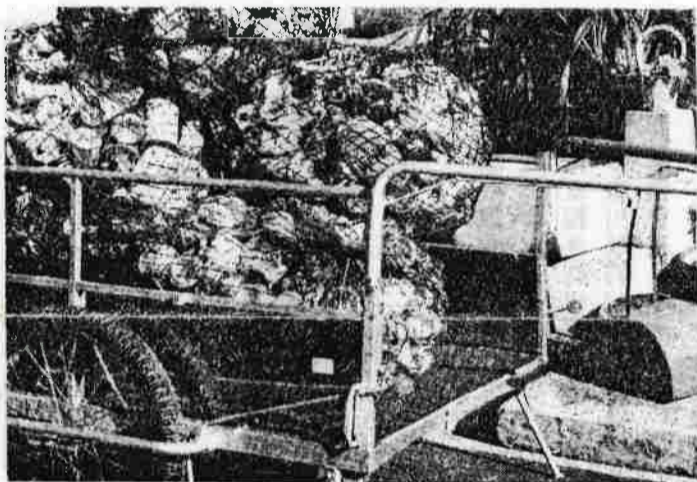


### 「分別回収」を実施して半年

びん・かんの分別回収を始めるに当り①PR(説明会を二度開催・説明書を回覧)を重ねて町会の皆様のご理解をいただき②回収ポイント(十六集積所)③回収用コンテナの保管出し入れ当番を役員会で決定。昨年七月にスタートしてから半年、当番や町会の皆様のご協力により回収作業は順調です。

■夏場は「かん」だけで、あみに十五袋も出ます。「他のごみ等は混ざらないように分別は正しく。」一人ひとりが資源の有効活用に関心を持って欲しいと思います。

■回収も軌道にのり、びん・かんの中も洗って下さるようになりました。地球環境保全、ごみの減量のため、これからも頑張ります。(鵜の木三丁目町会)



### 一人ひとりがごみ減量を

一世帯から出て来るごみの量の中から、リサイクル出来る古新聞、古雑誌・ビン・缶・パック類を除くだけでも、地球に優しい環境が生まれてくると思います。

私達の町でも古紙回収を初めてから三年になります。月一回ですが毎度増えてくるのが嬉しいのです。最近、ビン、缶月二回の回収もはじまりました。

「捨てればごみ、生かせば資源」といわれるように、一人ひとりが気をつけてごみ減量に理解協力して欲しいと思います。近いうちにごみ有料化も聞かれております。今のうちから、白トレーはスパーへ、古紙、ビン、缶は町の収集場所へと、より一層の協力を願って止みません。(鵜の木三丁目町会)

### みんなの町にリサイクル

いよいよ我が町も、リサイクル活動の一環として昨年十二月六日より、空ビン・空カンの分別回収が実施される事になりました。

まず回収にあたり各家庭に呼びかけて回覧と回収日、回収場所の設置図を配布しご協力をお願い致しました。町の皆さんが決められた場所、時間に運んで来てくださるか、期待と不安を抱きながら回収日前日に回収箱を設置し当日の朝を迎えました。午前八時三十分コンテナに入りきれないほどのビン、カンが運び込まれておりました。準備を重ねてこの日にこぎつける途に、町会長をはじめ役員の苦勞により実現出来たと思えます。資源を大切に保管して回収日に遠くの方も、近くの方もご持参して下さる気持ちをお願いし、お手伝いさせて頂きたいと思えます。(千鳥南町会)

### びん、かん回収にひとこと

PRに成功、浸透していただけますね。第一回目から集まっていますよ。今朝も五袋に相当な量でした。(五十代女性)

前の夜、七時から八時には出ている。夜十一時頃見たら満杯状態朝に出している人はいない。寒いからだと思う。周知徹底をすれば良いと思う。(六十代男性) (千鳥北町会)

### さんぽみち編集委員紹介

- 編集長 池田進太郎 (鵜の木東町会)
- 編集委員 政氏礼子 (南久が原一丁目町会)
- 水野敬司 (千鳥北町会)
- 大森律子 (千鳥南町会)
- 渡辺光子 (千鳥南町会)
- 森田登美恵 (鵜の木三丁目町会)
- 千葉栄子 (鵜の木三丁目町会)
- 永田 清 (鵜の木二丁目町会)
- 石田フミ子 (鵜の木西町会)
- 坂倉正子 (鵜の木西町会)
- 伊藤太郎 (鵜の木東町会)

### 鵜の木特別出張所管内

人口	男	10,733名
	女	10,927名
	計	21,660名
世帯数	10,089世帯	
平成8年1月1日現在		

# わがまもち 有名人

料理でひろがる人の和に乾杯

鵜の木一丁目 雨宮 広和

さまざまなたつと「出会い」を家で楽しめる雰囲気、一人っ子の私の幼い時からの夢、それを叶えてくれたのが趣味の「料理」。

六年程前、改築機会到来、チャンスである。それ迄銀座のレンタルキッチン等で料理好きの仲間と楽しんで来た会を、鵜の木の丘でやるではないか。半ば強引に家族を説得、大勢で活躍出来るキッチンとリビングを探し求めた。だが気に入るのは高嶺の花。無理かなとあきらめかけた時、気に入った唯一のキッチンメーカー社長からベルが鳴った。『吉本ばななの映画のセットを作る事になった。今の展示品システムキッチンを買えるよ。君のTV男の料理を見て十分使いこなして呉れると思うので相談に乗ろう』。感謝感激一件

## 今昔 うつりかわり

鵜の木二丁目 永田 清

昭和初期、河原坂切り通し下から西に向い、多摩川土手まで植えられた銀杏並木は、閑静な住宅地「調布嶺町」の四季を彩る代表的



↑「河原坂」下、より多摩川土手方面を望む(昭和9年)



現在の「いちよう並木」通り(原田・鵜の木郵便局長撮影)

な景観でした。戦後は商店・ビル建設の度に伐採されて、僅かに十数本が昔日の面影を残しています。

落着。リビングにも映画セットの一部を導入。料理愛好グループは「ブルースト」オランダ語で乾杯と友人のオランダ人が名付けの親クラブ活動は(土)早朝河岸への買出しに始まる。午後、新鮮な素材を愛情込めて調理、ワイワイガヤガヤ、やがて晚餐、食べるのが趣味とこだわる方がタイムミング良くチャイムを鳴らす。乾杯。飲む、食べる、喋る、出会いの輪。和はクライマックス。この光景を眺めているのが至福の時、仲間は国籍不問、九州小倉から、十和田湖の名物女将?、教えきれぬ職業の方々

に迄抜がった。時として九十三才の父も仲間入り、若き女性の情熱のキスに御満悦。料理好きだった亡き母もきつと満足。料理を通して拡がる数多くの出会いに乾杯。

## 地域の戦後50年史

七十八才老人の思い出

南久が原二丁目 岩本 宝造

昭和六年に当地へ参りまして今年で六十五目になります。現住所の南久が原二丁目は当時東京府下荏原郡東調布町宇鵜ノ木上原という町名でした。この頃市制がしかれ東京市大森区調布鵜ノ木町となり、住居表示変更で南久が原と現在名となりました。池上線の久が原駅は東調布、千鳥町駅は慶応グラウンド前という名称でした。因みに久が原から蒲田迄七銭、千鳥町からは五銭の運賃でした。現在の栄会商店街も店舗数も少なく通りに面した所も空地が多くあり、道路も下水の側溝も整備されて居らず、雨が降ればぬかるみ晴天が続けば砂ぼこりという有さまでした。又南久が原一丁目五番地に慈恵医大予科校舎があり、学生が多

勢下宿等に住んで居ましたので、喫茶店マージャン荘ビリアード等の店もあり今の街よりにぎわってました。又町会は第三小学校周辺を上原会、今のぬめり坂あたりが東山会、鵜の木の山(高台)には昭和会富士見会があったと記憶しています。その名残りが八幡様の祭礼に出す太鼓に上原の文字が刻まれてあります。戦災で八幡神社を始め、各町会も多数の家が焼失し大きな被害を受けましたが、五十年の間に現在のよう静かできいな町になりました。此れは行政と各町会の協力の結果だと思えます。今年には八幡神社の新築も緒に着いた事でも有り、昨年迄の不況風を吹き飛ばし皆様と共に元気に頑張りますよう。

## リレーエッセイ

町をきれいに

鵜の木三丁目 吉田 智恵

鵜の木に住んで早や四十二年、当時多摩川の水もシジミがバケツ一杯取れる程きれいでした。今の多摩川は釣がやつの程度です。子供を連れて歩いていたらジヤリ道も、アスファルトになり、両端に流れていたドブも、いつしか地下に潜り、一杯のお茶が缶になりました。世の中さまざまに変わって参りました。町にあふれるごみの山を何とか

少なくなるようにと、あちらこちらで頑張っているリサイクル運動に私も手伝いをしております。町の清掃にも出かけて行き、皆様と共にボランティア活動を続けております。いつまでも健康で、お役に立ちたいと願っております。今回は鵜の木二丁目町会の田村 テルさんです。

## 俳句

辻に合ひ犬共々の御慶かな  
国訛り語り雑煮祝ひけり

千鳥二丁目 岩淵 昭子

年金の生活にも馴れ歳を越す  
南久が原二丁目 岩本 宝造

梅を詠み心は古きことに馳せ  
煙り立つ流人の島や椿咲く

溶岩のとまるところ落椿  
南久が原二丁目 小原 青文

## 短歌

つくばひて水芭蕉の花嗅ぎてみる  
ほのかに青き妖精の香を

目を覆ふニッコウキスゲの群落が  
我も染むるか尾瀬の黄の色

木枯らしの白く渡れる多摩川を  
少年の日の夢が流るる

南久が原二丁目 石山 春吉

## 編集後記

早春の多摩川堤には、もう、よもぎの可れんな姿がじつと寒さにたえながら頑張っております。管内の皆様お元気で日々お過ごしのこと事お喜び申し上げます。この「さんばみち」は地域の情報紙です。ご意見等どしどしご投稿いただきたく思います。鵜の木特別出張所宛お願い申し上げます。池田進太郎

## 訃報

鵜の木西町会会長 中澤四郎氏平成八年一月十五日に逝去いたしました。謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。